

テロ・大規模災害への対処及び対日有害活動対策の強化

1 テロの脅威等への対処

(1) 官民一体となったテロ対策の推進

- 警察では、テロの未然防止及びテロへの対処体制の強化に取り組むため、従来の警備対象勢力に加え、ローン・オフエンダーも念頭に置き、情報収集・分析、水際対策、警戒警備、事態対処、官民連携といったテロ対策を強力に推進しています。
- テロ等を未然に防止するためには、関係機関や民間事業者、地元住民等と緊密に連携して「官民一体となったテロ対策」を推進する必要があります。
こうした取組みを推進するため、「テロ対策パートナーシップかがわ」では、定例会や訓練、合同キャンペーン等を実施し、テロに対する危機意識の共有や大規模テロ発生時における協働対処体制の整備等を行っています。
- テロを行う者の拠点等となり得る旅館、インターネットカフェ、レンタカー、不動産関連団体等に対して、顧客に対する本人確認の徹底等の働きかけを行い、社会情勢の変化を踏まえながら、テロリストによる悪用の防止を図っています。

(2) 極左暴力集団、右翼による違法行為の取締り

- 令和7年中、県内では極左暴力集団によるテロ・ゲリラ事件の発生はありませんでしたが、国内においては過去に飛翔弾発射事件等が発生しており、関連情報の収集と政府関連施設等への警戒警備を強化しました。
- 令和7年中、県内では右翼による街宣活動や対抗勢力に対する抗議行動が行われ、法令に基づいて暴騒音の取締りを行いました。
また、右翼によるテロ・ゲリラ事件の抑止のため、情報収集や資金源犯罪の取締りに努めました。

(3) 諸情勢に応じた警衛・警護の徹底

- 第49回全国高等学校総合文化祭への御臨席と地方事情御視察のため、7月26日から27日までの間、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が本県にお成りになりました。県警察では、県民の皆様の御協力もいただきながら、職員全員が一丸となって警衛を完遂しました。



テロ対策パートナーシップかがわ定例会



テロ対策パートナーシップかがわの枠組みを活用したキャンペーン



テロ対処訓練



秋篠宮皇嗣同妃両殿下お成り警衛

テロ・大規模災害への対処及び対日有害活動対策の強化

- 第27回参議院議員通常選挙において警護対象者が参加する街頭演説等では、主催者等に対し、手荷物検査を講じるよう働き掛けるなど、警護対象者と聴衆の安全を確保しました。



警護現場における手荷物検査

2 大規模災害への対処力の強化

(1) 災害警備指揮体制の強化

災害時における迅速な初動体制を確立するため、大規模災害を想定した非常伝達訓練や災害警備本部設置運営訓練等を実施しました。



災害警備本部設置運営訓練

(2) 部隊対処能力の向上

- 大規模災害を想定した中国四国管区広域緊急援助隊災害警備訓練（高知県）に参加するなど、部隊の救出救助能力の向上を図りました。
- 県内で実施された香川県総合防災訓練など関係機関主催の合同訓練に参加し、災害対処能力の向上や関係機関との連携強化を図りました。
- 航空隊では、発災時に迅速な対応がとれるよう県内や隣接県の主要な場外離発着場を確認したほか、大規模災害を想定し、機動隊員等と救出救助訓練を実施するなど、災害対処能力の向上を図りました。



広域緊急援助隊災害警備訓練



救出救助訓練

3 対日有害活動対策の強化

- 企業やアカデミアが保有する先端技術の情報が国外に流出した場合、企業等の国際競争力が低下するだけでなく、我が国の安全保障上も重大な影響が生じかねません。技術流出の防止は、経済安全保障上の重要な課題です。

様々な経済活動を通じた技術情報等の国外流出を未然に防止するためには、技術情報等を取り扱う企業等による自主的な対策が不可欠です。

- こうした取組みを推進するため、技術情報等を扱う企業等に対し、捜査等を通じて把握した技術情報等の獲得に向けた外国からの働きかけの手口に関する情報やその対策に資する情報を提供する、いわゆるアウトリーチ活動を通じ、企業等による対策を支援しています。



県内半導体企業に対するアウトリーチ活動

サイバー空間の脅威への的確な対処

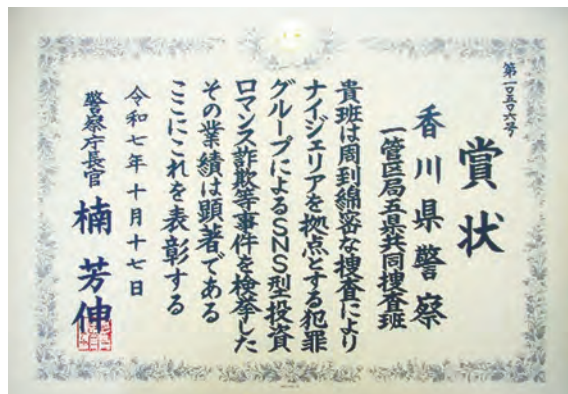
1 サイバー事案等への対策

(1) サイバー事案等の取締り

サイバー捜査を高度化する資機材を活用した捜査を推進しました。



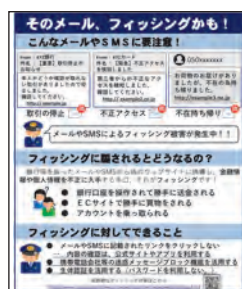
フリマサイトを悪用した電子計算機使用詐欺事件



警察庁長官賞受賞(ナイジェリアを拠点とする犯罪グループによるSNS型投資ロマンス詐欺事件)

(2) サイバー事案被害防止対策

- 香川県警察のホームページ、SNS等を利用してフィッシングに対する注意喚起を実施しました。
- ランサムウェアの復号ツールを用いて、県内被害法人の暗号化されたデータを復元しました。



フィッシングに対する注意喚起



ランサムウェア被害ファイルの復号に成功

(3) サイバー攻撃への対策

- サイバーセキュリティ分野の有識者を招聘した講演会を開催するなど知識・技能の向上に努めるとともに、サイバー攻撃に係る最新の手口等に関する情報の収集・分析を行い、攻撃者等の実態解明に努めました。
- 重要インフラ事業者等に対する個別訪問のほか、インシデント対応ボード訓練の開催等により、サイバー攻撃事案が発生した場合における被害の拡大防止、迅速な対処に向けた連携強化を図りました。
- 第49回全国高等学校総合文化祭の警衛警備に万全を期すため、サイバー攻撃関連情報の収集・分析の強化、関係事業者との情報共有のほか、サイバー攻撃事案を想定した共同対処訓練を実施するなどサイバー攻撃対策に取り組みました。



インシデント対応ボード訓練の開催



第49回全国高等学校総合文化祭におけるサイバー攻撃対策

2 人材育成の推進

(1) サイバー空間における脅威への対処に係る人的基盤の強化

「香川県警察におけるサイバーセキュリティ戦略」に基づき、部門間連携の強化、人材育成計画の策定等、警察組織の総合力を発揮するための諸対策を推進しました。

また、警察職員のサイバー事案対処等に関する知識及び技能の向上に資するサイバー事案対処能力検定と情報処理能力検定を同一機会に実施し、事務の合理化を図りました。

(2) 捜査員等に対する実践的研修

- 警察本部と各警察署をオンラインで繋ぎ、サイバー分野に関する知識・技能を競うサイバーセキュリティ研修（CTF研修）を実施しました。
- 情報通信事業者の職員を「香川県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー」に委嘱し、警察職員に対するセキュリティ講演会を開催しました。



サイバーセキュリティ研修(CTF研修)

3 官民連携による被害防止対策の推進

(1) サイバー防犯ボランティアと連携した対策

- 大学・専門学校の学生で構成される2団体をサイバー防犯ボランティアに委嘱し、ボランティアと連携した被害防止対策を推進しました。
- いわゆる闇バイト等のサイバーパトロールを行うなど、サイバー空間の浄化活動を推進し、県民のサイバー空間における規範意識の向上に貢献したとして本部長から香川大学防犯ボランティア「SETOKU」に対し感謝状を贈呈しました。



サイバー防犯ボランティアに対する感謝状贈呈式

(2) 関係機関・団体と連携した対策

- 県下の関係機関・団体及び企業で構成する各協議会との情報共有と連携を図り、サイバー事案による被害防止に向けた自主的取組みを促進しました。
- 民間事業者等に対して、最新のサイバーセキュリティ情勢やその対策に関する講演を実施し、サイバー空間の脅威に対する危機意識の醸成を図りました。



民間事業者に対する講演